

馬券攻略法「的中中袋」

2006 年春の東京開催

G1 5 連戦、4 連勝の軌跡

サニ一耳順

1. 2006年春の東京G1 5連戦、4連勝の軌跡

馬券攻略法「的中袋」は、2006年春の東京G1 5連戦を、最初のNHKマイルカップを惜しいところで外しましたが、残りの4戦をすべての的中しました。ここに、その軌跡を記します。

その1 5月7日 NHKマイルカップ 芝1600m 良

単勝人気

1番人気	18	フサイチリシャール	福永	2.6倍
2番人気	1	マイネルスケルツイ	柴田善	4.0倍
3番人気	6	ロジック	武豊	8.7倍
4番人気	8	ステキシンスケクン	ボス	13.2倍
5番人気	13	アドマイヤカリブ	後藤	13.4倍
6番人気	15	キンシャサノキセキ	安藤勝	14.8倍
7番人気	4	アポロノサトリ	蛸名	15.9倍
8番人気	11	タガノバステューユ	池添	19.2倍
9番人気	2	ファイングレイン	横山典	25.9倍
10番人気	10	ダイヤモンドヘッド	岩田	26.6倍
11番人気	17	ドラゴンウェルズ	藤田	43.2倍
12番人気	16	ディーブエアー	四位	69.9倍

馬連人気

1番人気	1-18	5.0倍
2番人気	6-18	12.6倍
3番人気	1-6	14.5倍
4番人気	13-18	18.8倍
5番人気	8-18	19.9倍
6番人気	4-18	22.5倍
7番人気	15-18	24.7倍
8番人気	1-13	25.2倍
9番人気	1-4	25.8倍
10番人気	1-8	27.9倍

「的中袋」の結論

4-18
11-18
2-18
10-18
17-18
16-18
1-4
1-11
1-2
1-10
1-17
1-16

結果

2-6 6,110円 ハズレ

解説

「的中袋」の結論では、「馬券の中心」は下位人気にあるというものでした。馬券攻略システムとしては、

1番人気18、および、2番人気1から、下位人気の6頭、7番人気4、8番人気11、9番人気2、10番人気10、11番人気17、12番人気16に流す

システムを取りました。

レースは、読みどおり、下位人気馬、9番人気2が激走し、2着に突っ込むという「馬券の中心」は、しっかり押さえましたが、残念ながら、3番人気6が1着となり、結果としては、馬連ハズレとなりました。

ハズレとはなりましたが、このように、「馬券の中心」を外していない場合は、的中を逃しても、何も気にする必要はありません。

その2 5月14日 ヴィクトリアマイル 芝 1600m やや重

単勝人気

1番人気	6	ラインクラフト	福永	2.4倍
2番人気	1	ダンスインザムード	北村宏	3.9倍
3番人気	18	エアメサイア	武豊	5.4倍
4番人気	13	ディアデラノビア	横山典	9.2倍
5番人気	10	ヤマニンシェクル	四位	13.3倍
6番人気	16	ヤマニンアラバスタ	江田照	15.6倍
7番人気	7	アグネスラズベリ	本田優	19.9倍
8番人気	11	ロフティエイム	安藤勝	53.8倍
9番人気	14	チアフルスマイル	横山典	55.4倍
10番人気	2	マイネサマンサ	森下博	81.2倍
11番人気	15	デアリングハート	藤田	82.9倍
12番人気	9	レクレドール	蛭名	96.1倍

馬連人気

1番人気	1-6	4.8倍
2番人気	6-18	5.7倍
3番人気	1-18	10.0倍
4番人気	6-13	15.7倍
5番人気	6-10	16.5倍
6番人気	1-13	17.9倍
7番人気	6-7	20.6倍
8番人気	1-10	23.7倍
9番人気	6-16	25.3倍
10番人気	13-18	26.2倍

「的中袋」の結論

1-6

6-18

1-18

結果

1-18 1,000円 的中

解説

上位人気3頭、

1番人気6、2番人気1、3番人気18

が「馬券の中心」。

これ以外はありません。

という簡単なレース類型でした。

3点で10倍の馬連を仕留めることができるのは、一つは、このような簡単なオッズを形成して下さった何百万、何千万人という熱心な競馬ファンのおかげ、もう一つは、競馬ファンの期待にきっちりと応えた、北村宏、武豊の技量のおかげだと思っています。

その3 5月21日 オークス 芝2400m 良

単勝人気

1番人気	13	アドマイヤキッス	武豊	3.0倍
2番人気	17	キストゥヘヴン	安藤勝	3.8倍
3番人気	9	カワカミプリンセス	本田優	6.7倍
4番人気	6	コイウタ	横山典	11.3倍
5番人気	2	フサイチパンドラ	福永	12.6倍
6番人気	5	ニシノフジムスメ	藤田	13.8倍
7番人気	10	アサヒライジング	柴田善	18.2倍
8番人気	1	ブルーメンブラット	川島	21.1倍
9番人気	18	ヤマトマリオン	菊沢隆	33.6倍
10番人気	11	テイエムプリキュア	熊沢	37.8倍
11番人気	15	シェルズレイ	岩田	46.2倍
12番人気	14	ブロンコーネ	吉田豊	46.4倍

馬連人気

1番人気	13-17	5.4倍
2番人気	9-13	10.7倍
3番人気	6-13	13.7倍
4番人気	9-17	15.8倍
5番人気	2-13	19.4倍
6番人気	6-17	19.7倍
7番人気	5-13	20.2倍
8番人気	1-13	26.6倍
9番人気	5-17	26.7倍
10番人気	10-13	31.2倍

「的中袋」の結論

- 6-13
- 2-13
- 5-13
- 10-13
- 6-17
- 2-17
- 5-17

10-17

6-9

2-9

以上 10 点

結果

2-9 4,180 円 的中

解説

オークスは、3 歳牝馬が、芝 2400m という未知の距離で競う合うレースです。

1 番人気 1 3 は武豊騎乗の割には、馬券が売れていません。上位の信頼性が拮抗しているとオッズが示しています。

「的中袋」では、1 番人気 1 3、および、2 番人気 1 7 からの馬券を中心にし、この 2 頭の信頼性が乏しいため、3 番人気 9 からの押さえを加えました。

上位 2 頭が信頼性を欠くということを、オッズがきちんと示している、よい例です。

レース結果は、3 番人気 9 が 1 着、5 番人気 2 が 2 着という、いわゆる「チョイ荒れ」ですが、これで、馬連 4 1. 8 倍は、盲点だったのか、オイシイ馬券でした。

その4 5月28日 ダービー 芝2400m やや重

単勝人気

1番人気	2	メイショウサムソン	石橋	3.8倍
2番人気	17	フサイチジャンク	岩田	5.5倍
3番人気	10	アドマイヤムーン	武豊	5.9倍
4番人気	6	アドマイヤメイン	柴田善	6.4倍
5番人気	4	マルカシエンク	福永	7.6倍
6番人気	9	サクラメガワンダー	内田博	12.5倍
7番人気	15	ドリームパスポート	四位	13.0倍
8番人気	14	ジャリスコライト	横山典	13.9倍
9番人気	5	トーホウアラン	藤田	34.2倍
10番人気	7	フサイチリシャール	ボス	34.7倍
11番人気	3	ロジック	幸	46.3倍
12番人気	11	ヴィクトリーラン	安藤勝	100.7倍

馬連人気

1番人気	2-17	9.6倍
2番人気	2-10	10.9倍
3番人気	2-6	11.2倍
4番人気	10-17	14.2倍
5番人気	6-17	18.3倍
6番人気	2-4	18.4倍
7番人気	2-15	19.9倍
8番人気	6-10	21.5倍
9番人気	2-9	23.9倍
10番人気	4-17	25.3倍

「的中袋」の結論

2-6
2-4
2-9
2-15
6-17
4-17
9-17

15-17

10-17

結果

2-6 1,120円 的中

解説

皐月賞馬メイショウサムソンが、フサイチジャンク、アドマイヤムーンを押さえて、一番人気に支持されました。

鞍上の石橋守は、ご存知の通り、地味なジョッキーで、その割にオークスではヤマニンファビュルで大暴走するなど、不可解な騎乗をするので、個人的にはメイショウはバツサリ切れると思われました。しかし、オッズが示すのは、メイショウは「買い」です。

仕方なく、これまた、嫌いなタイプのアドマイヤメインとの組み合わせを買いましたが、結果的には、この2頭で決まり。改めて、オッズが示す的中馬券という意識を強くした、記念すべきダービーでした。

その5 6月4日 安田記念 芝 1600m 良

単勝人気

1番人気	17	オレハマッテルゼ	柴田善	5.7倍
2番人気	1	ダイワメジャー	安藤勝	5.8倍
3番人気	4	ブリッシュラック	プレブル	6.4倍
4番人気	2	ダンスインザムード	北村宏	7.3倍
5番人気	3	テレグノシス	武豊	7.4倍
6番人気	11	カンパニー	内田博	8.5倍
7番人気	6	ハットトリック	岩田	9.7倍
8番人気	16	ジョイフルウィナー	ビードマン	21.6倍
9番人気	12	バランスオブゲーム	田中勝	22.9倍
10番人気	15	アサクサデンエン	藤田	24.5倍
11番人気	14	インセンティブガイ	横山典	28.2倍
12番人気	18	グレイトジャーニー	佐藤哲	41.4倍

馬連人気

1番人気	1-2	14.1倍
2番人気	1-17	15.1倍
3番人気	2-17	15.7倍
4番人気	2-3	19.8倍
5番人気	3-17	20.6倍
6番人気	1-3	21.1倍
7番人気	2-4	25.3倍
8番人気	1-11	25.4倍
9番人気	1-4	25.7倍
10番人気	3-4	26.5倍

「的中袋」の結論

1-6
1-16
1-12
1-15
1-14
1-18
4-6

4-16

4-12

4-15

4-14

4-18

結果

4-15 12,770円 的中

解説

香港からの遠征馬3頭を加えて、力の比較が難しい1戦。

難しいということは、オッズにもキチンを現れてきました。

「的中袋」の判断は、NHKマイルカップと同じ、「馬券の中心」は、下位人気馬にあるというもの。

2番人気1、および、3番人気4から、下位人気馬6頭、7番人気6、8番人気16、9番人気12、10番人気15、11番人気14、12番人気18に流す攻略システムを採用。

1着は3番人気4、昨年の覇者でありながら人気が落ちていた10番人気15が2着に突っ込み、万馬券となりました。なお、3着には8番人気16が入り、「馬券の中心」が、下位人気馬にあるということが、証明されました。

以上、「的中袋」による2006年春の東京G1 5連戦、4連勝の軌跡を回顧してきました。

ここで、まず、申し上げたいことは、馬券攻略法「的中袋」の予想は、ここに掲載したデータの一部だけを使用して、誰にでも簡単にでき、的中馬券に、誰でも辿り着くことができるということです。

これ以上は何もありません。「たった、これだけ????」と思うほど少しのデータしか使いません。

誰がやっても同じ結果になります。才能は要求されません。

春の東京開催 G1 5連戦を、NHKマイルCを外したものの、残り4戦を、きちんと的中させ馬券攻略法「的中袋」。

「なぜ、そんなに的中するのか」という疑問が湧いてくるころです。

JRAでは、年に3000レース以上行われています。

その個別のレースを、オッズに基づき、類型化すれば、同じ類型では同じような結論になるということがいえるからです。

ですから、過去のどのレースと同じパターンかを分析してしまえば、過去のレースと同じ結果になるという、ごく当たり前のことをやっているだけです。

歴史は繰り返されるのです。(ある歴史学者は、「歴史が繰り返されるのではなくパターンが繰り返されるのである」といっていましたが、まさに競馬の世界はその通りです)

「的中袋」は、馬券攻略のために、「レースタイプの確定」という作業をします。

これにより、そのレースがどのようなレース、つまり、どのような結果が出るレースなのかを分析して結論を出します。

だから、いやでも、的中してしまうのです。

以下では、馬券攻略法「的中袋」が、どのような考え方で生み出されたのか、「的中袋」はどのように的中馬券を予想するのか、「的中袋」の実績はどうか、などについて、ご説明したいと思います。

2. カジノと競馬

とある国の某カジノ。

「ノーベット (No Bets) ノーモア (No More)」
ルーレットの中国系ディーラーが賭けの受付終了を告げた。

私は、前日、次のような戦法で勝った。

① 「赤・黒」、「奇数・偶数」、「大・小」のように確率 1/2 で出るような目で、同じ目が 3 回続いたら、4 回目にはその逆張りをする。

例) 「奇数」「奇数」「奇数」と 3 回続いたら、次は「偶数」にチップ 1 枚賭ける。

② ①で外れたら同じ逆張りを継続する。ただし、掛け金を倍にする。

例) 「奇数」「奇数」「奇数」と 3 回続き、「偶数」にチップ 1 枚賭け、「奇数」が出たら、「偶数」に 2 枚賭ける。

③ これを当たるまで繰り返す。

いたって単純な戦法であるが、10 ドルチップ 1 枚賭けからスタートし、前日は、4,000 ドル近く勝っていたのであった。

さて、前日は、同じ目が 3 回続いたら 10 ドルチップ 1 枚賭けでスタートしていたが、一晩明けたその日は、懐が十分なので、1 桁上のタイガー (100 ドルチップ) 1 枚賭けでスタートすることにした。ただし、慎重を期し、同じ目が 3 回ではなく、4 回続いたら逆張りを開始することとした。

さすがに 4 回続くケースは少なくなり、「見 (ケン、見送り)」が続いた。

何回もスピンを見送り、いよいよ、出動の機会が訪れた。

「黒」が 4 回続いた。

「黒」が 4 回続く確率は、ほぼ $1/2 \times 1/2 \times 1/2 \times 1/2 = 1/16$ である。

もう十分だろう。

次のベットから「赤」に賭け始めた。

タイガー1枚からスタートした。

しかし、「黒」が出続け、2枚、4枚、8枚と4連敗した。

つまり、「黒」が、8回続いて出たのだ。

4回のベットの賭け金合計はタイガー15枚となった。

ポケットの中で唸っていたタイガーは半分近くが無くなっていた。

私は、タイガー16枚を「赤」に積み重ね、ゆっくりとスピンを続ける白いボールの行方を見守っていた。

「ノーベッツ (No Bets) ノーモア (No More)」
ルーレットの中国系ディーラーが賭けの受付終了を告げた。

チーン。

白いボールはゆっくりと軌道を描きながらコロコロ落ちてきた。

「エイト、ブラック (8、黒)」

これが、私のカジノ惨敗記です。

ギャンブルの基本は、「黒」が3回出たら、続けて「黒」に賭ける」です。

なぜかというと、「黒」「黒」「黒」の後、「黒」に賭けて外れたら、引き続いて「黒」に賭けることはないからです。

というのは、「黒」「黒」「黒」「赤」と続いても次は「黒」がよいのか「赤」がよいのかよく解らないからです。そこで、勝負の区切りがつくのです。

ところが、「黒」「黒」「黒」の後、「赤」に賭けて外れたら、引き続いて「赤」に賭けてしまうでしょう。

なぜなら、「黒」「黒」「黒」「黒」と続いていけば、次はさらに「赤」に賭けたくなるでしょう。

それで外れたら、また「赤」に賭けます。

それで、また、外れたら、またまた、「赤」に賭けます。

ですから、外れ続ける恐れがあるのです。

私の失敗はそれです。ハマるってやつです。

基本を外しているのだから、負けたのは仕方ありません。

さて、私が、ここで、カジノの例を引いたのは、反省するためでも、バクチの基本を紹介するためではありません。

カジノと競馬の違いを皆さんに理解してもらいたいからです。

さて、皆さんにご質問です。

なぜ、日本では、カジノは認められないのに、競馬は認められているのでしょうか。

ルーレットと競馬の違いは何でしょう。

ここをきちんと理解することが馬券的中の基本です。

答えは、「ルーレットと競馬の違いは、結果が 100%偶然によって決まるかどうか」

「ナーンだ。そんなこと、わかっているわい」でしょう。

正確に言えば、ルーレットもディーラーの腕により、偶然だけではない場合もありますが、基本的には 100%偶然で決まります。

一方、競馬は偶然の要素があるにしても、ある程度、必然の要素があります。

こう考えてみるとわかりやすいと思います。

8頭立てのレースを考えて見ましょう。

もし、競馬が、ルーレットと同じく「結果が100%偶然によって決まる」のであれば、全ての馬に、単勝8倍のオッズが付くはずです。(ここではテラ銭は考慮しません)

でも、ディーパインパクトに8倍のオッズがつくことはありません。

ディーパインパクトに8倍のオッズがつけば、まず殆ど100%の人がディーパインパクトを買いますよね。

なぜ、殆どの人がディーパインパクトを買うのでしょうか。

勝ちそうだからですよ。

で、やっぱり勝ちますよね。

競馬は、強い馬が勝つことが多いのです。

必然の要素があります。

つまり、競馬は、偶然で全て結果が決まるわけではないのです。ある程度、必然の部分があるのです。

そうはいつでも、毎レース、1番人気は勝つわけではありません。

しかし、年間の統計を取れば、最も勝つのは1番人気の馬です。

これは、よく考えると物凄いことです。

その理由は、私にはわかりません。それだけ、皆さんの予想が上手ということなのでしょう。

予想が上手であれば、勝つことができる。だから、競馬は法的に認められているのです。

競輪、競艇、オート、サッカーの TOTO など同じ理由から認められています。

(なぜ、宝くじやロト 6 が認められているのかは、私にはよくわかりません。)

ところが、ルーレットはすべて偶然、運任せ。だから、認められないのです。

競馬は、「強そうな馬が勝つことが多い」を大前提として、行われているゲームです。この大前提は決して揺らぐことはありません。

なぜなら、この大前提がなくなってしまうと、競馬は法的に認められなくなってしまうからです。

つまり、

ルーレット=100%偶然

競馬=偶然+必然

ということがいえるのです。

「競馬=偶然+必然」を競馬の公式と呼ぶことにしましょう。

3. 競馬とオッズ

日本の競馬は、「強そうな馬が勝つことが多い」ということを大前提として成り立っているといいました。

強そうな馬とは、すなわち、オッズが示す人気が高い馬のことです。

ということは、オッズに基づき、買い目を予想することが、馬券中の王道であるということなのです。

いいですか？

ここが大事です。

強い馬だからオッズが低いのではなく、オッズが低いから強い馬なのです。

それで、現実に強い馬が勝っていくのです。

JRA で馬券を買くと、テラ銭を多く取られますが、その対価として、オッズを公表し、的中馬券は、こちらですよと教えてくれているのだと理解してください。

考えてみれば、有難い限りです。

でも、実際には、人気通りに着順が決まることなど、めったにありません。

オッズが示す上位人気馬が勝つことが多いといっても、「毎回単勝 1 番人気は勝つ」なんてことはありません。

単勝 1 番人気の勝率は多分毎年 35%位のものでしょう。

また、単勝 1 番人気は吹っ飛んで万馬券もよく出ますよね。

なぜ、こんなことが起きるのでしょうか。

競馬の公式を思い出してください。

競馬＝偶然＋必然

でしたね。

これまでの説明から、必然の部分はオッズで示される序列と考えてください。

すなわち、1番人気、2番人気、・・・・・・、16番人気、という序列です。

偶然の部分は、この序列を変化させる力です。

必然 100%であれば、1番人気は1着、2番人気は2着、・・・・・・、16番人気は16着となります。

それを、偶然の力により、5番人気は1着になったり、1番人気は3着になったり、序列を変化させていると考えるわけです。

この偶然の力が、どのような大きさと、どのように働くかを測定するのが、馬券中の重要なポイントとなるわけです。

競馬の公式で、必然の部分はオッズで表現される序列です。

ところで、馬の力量とオッズの関係はどうなっているのでしょうか？

たとえば、あるレース（仮にオッズ特別とでもいいますか）の単勝のオッズが以下のようになっていたとしましょう。

- 1番人気 ④ 3倍
- 2番人気 ⑦ 5倍
- 3番人気 ① 6倍
- 4番人気 ⑩ 8倍
- 5番人気 ⑨ 10倍

オッズが馬の力量を示すと言いましたが、あくまでも1点で示すに過ぎません。上の例では、1番人気の④の力量は、単勝3倍という「点」で示されています。

しかし、本来、馬の力量は、「ある巾」を持ったものと考えるのが妥当であると思います。

つまり、単勝 3 倍の④の力量は、3 倍という「点」ではなく、2.5 倍から 3.8 倍というような「巾」で示されるべきものではないかと思ひます。

たとえば、「強力な逃げ馬であるが、絡まれると脆い」というタイプの馬は、単勝オッズが 3 倍でも、オッズの最大値はたとえば 15 倍と大きく（人気がない＝弱い）なります。

一方、「一発ハマれば、直線ごぼう抜き」というタイプの馬は、単勝オッズが 15 倍でも、オッズの最小値はたとえば 2.5 倍と小さく（人気がある＝強い）なります。

なんとなく、お分かりになれましたか？

このような考え方をすると、オッズ特別の各馬の力量は

1 番人気	④	3 倍	2.5 倍～3.8 倍
2 番人気	⑦	5 倍	4.3 倍～6.0 倍
3 番人気	①	6 倍	5.5 倍～6.9 倍
4 番人気	⑩	8 倍	7.0 倍～9.5 倍
5 番人気	⑨	10 倍	9.2 倍～11.5 倍

というように表現されるべきなのではないでしょうか。

さて、この 5 頭のオッズの巾をじっと見比べると、所々で、逆転現象が起きていることがわかります。

たとえば、2 番人気⑦のオッズの最大値は 6.0 倍です。3 番人気①のオッズの最小値は 5.5 倍です。オッズが小さい方が、力量がより上であることを示すわけですから、場合によっては、3 番人気と 2 番人気の着順は逆転することもあるといえます。

確かに、人気が接近すると、逆転現象が起きやすいということを、皆さんは現実に体験済みだと思います。

このオッズの巾がどれくらいの大きさかは、解る方法はありません。

しかし、何とかこの「巾」を推定することはできないかと思ひました。

私は、各馬の力量の中を大きくしたり、小さくしたりするのが偶然の力と考えました。

偶然の力により、馬の力量の中が大きくなったり、小さくなったりした結果、着順の逆転が起きるのではないかと考えました。

もう一度、競馬の公式を思い出してください。

競馬＝偶然＋必然

でしたね。

でも、本当は

競馬＝必然×偶然

なのです。

必然が先にありきなのです。

必然がメジャーです。偶然はあくまでもマイナーな要素です。

ここで疑問が生じたら、もう一度、なぜ、競馬が日本で認められているかを思い出してください。

それでも、ご理解いただけない方には次のような説明では如何でしょうか？

16 頭立てのレースで馬連の組合せは 120 通りあります。

そのうち、万馬券の組合せは 3 分の 2 以上あるはずですが、でも、万馬券は 3 レースのうち 2 レースも出ませんよね。

これって、「人気馬が、やはり、強い」ってことではありませんか？

「必然」がメジャーってことですよね。

くどいようですが、「必然」がメジャー。

だから、オッズに基づく馬券攻略が最強なのです。

4. スジのいい馬券攻略

競馬では、高い配当になることを「荒れる」といいます。大方の予想を裏切って、人気薄の馬が絡むと荒れることとなります。人気薄の馬が人気馬より走ると「荒れる」ということとなります。

ルーレットでは、同じ目が良く出るということがあるかもしれませんが、「荒れる」とは言いません。また、誰もかけていない目が出て配当が高くなることはありません。例えばテーブルに8人の客がいて、7人が「10」の目に賭けず、1人だけが「10」に賭けたとしても、配当は36倍ですね。

レース前には、「これは堅いレースになるよな」とか「これはさすがに荒れそうですね」ということがよく言われます。

ナリタブライアンとマヤノトップガンの死闘で有名な阪神大賞典は堅そうなレースが堅く収まった例です。

その逆に、「荒れそう」と思ったら、「やっぱり荒れた。だけど、ここまで荒れるとは思わなかった」というような例もあります。

厄介なのは、「堅そう」だったのに「荒れた」とか、「荒れそう」だったのに「堅かった」という例です。

特に「荒れそう」と思って、人気薄の馬券を買ったのに、結果が「堅かった」では、ショックも大きくありませんか？

予想：荒れそう or 堅そう

結果：荒れた or 堅かった

の組合せは4通り出来ます。

この4パターンを分析し、それぞれのパターンを攻略できないか考えました。

結果は、「荒れそう」なときは「荒れた」ことが多く、「堅そう」なときは「堅かった」ことが多い、という、至極、常識的な結果が出てきました。

「荒れそう」なときに「堅い」馬券を買ったり、「堅そう」なときに無理に大穴を狙っていませんか？

「荒れそう」なときには、大胆に穴馬券を狙い、「堅そう」なときは、本命が飛ばば万馬券という誘惑をぐっところえて、買い目を絞った本命馬券で勝負する。

これが、スジの良い馬券攻略法だと思います。

5. オッズで買い目を決める

オッズだけで買い目を決めるということに、どうしても、なじめない方がいらっしゃると思います。

このように考えてみてはどうでしょうか。

ある日のお昼、お腹がすいて、ラーメンが食べたくまりました。

ラーメン屋が2軒あります。1軒は行列、1軒はガラガラです。

時間の制約がなく、おいしいラーメンを食べたいとすれば、どちらに入ろうとしますか？

お客さんがたくさん入っていて行列ができている方を選ぶのが普通ですよ。

どうして、行列がある方を選んだのでしょうか。

それは、並んでいる人が、きっと、以前にこの店に入ったことがあって、おいしいラーメンを食べたからだろうと、皆さんが思うからです。

それで、大抵の場合、ガラガラの店よりは行列のある店のラーメンの方がおいしいですよ。

行列に並んでいるお客さんの持っている情報・知識が集約されたものが、行列となって現れているのです。

これって、オッズとよく似ていませんか？

行列がラーメンに関する情報・知識の集約とすれば、オッズも出走馬に関する情報・知識の集約です。

皆さんが、個人で馬券を検討することは、ラーメン屋を選ぶことにたとえると、どのような労力を払っていることになるのでしょうか？

それは、きっと、こうです。

2つの店を外から眺め、ラーメンの作り方、麺の形状、ゆで具合、スープの色、チャーシューの大きさ、湯気の出具合などを観察し、「こちらの店の方がうまそうだぞ」と言っているのに過ぎないのです。

そんなばかげた方法より、他人の知識・情報の集約の結果である「行列」を判断材料とした方がどれだけ正しい判断ができるか知りません。

お分かりですね。

何百万人の競馬ファンにあらゆる情報・知識を分析させ、その結果として、きわめて凝縮され、かつ洗練された情報、それが、オッズです。

ですから、オッズを、馬券攻略の基本作業、レース解析のツールとして用いるのです。

6. オッズと事大主義

前に言ったように、オッズというのは、何百万人もの A さん、B さん、C さんの知恵の集積です。

一般人はこれを利用して、馬券の検討をすることができます。

ところが、競馬新聞、スポーツ新聞の予想家、トラックマンは、自分たちの予想がオッズを作る側にあります。

他人の知恵を活用する術がありません。

これって大変なことなんです。

皆さんは、全く印のない、あるいは、印を消した新聞で予想をしたことがありますか？

ある時期、私は、各馬の数値化に熱を入れていたことがあって、新聞の印を全く無視していました。当時、印を見なくても、1 番人気を当てるのはうまいと褒められましたが、馬券は当たりませんでした。

印を見ずに 1 番人気を当てるのって、結構難しいものですよ。

それはさておき、オッズを見た上で、自分の馬券作戦を練れる一般人は、予想家、トラックマンに比べて、非常に大きなアドバンテージを持っているといえます。

無数の断片的な情報の集大成がオッズです。これを活用しない手はありません。

「事大主義」という言葉があります。大きい者に付けばよいという考え方です。

李氏朝鮮末期にはこの「事大主義」が定着していたといわれています。清に対して、気を遣い続けたのはその思想に基づいたものとも言われています。

朝鮮半島のように、歴史的に常に中国や異民族の圧力を終始感じざるを得なかった地域が、独立を守り、生き延びるためには、「事大主義」とは、まさに知恵の結晶であったと思います。

さて、競馬の世界で、われわれ情報弱者である一般人が、オッズに基づき馬券攻略をするのは、「事大主義」に似ています。

オッズは情報の集大成であると共に、JRAの無形資産の一部です。

これに事（つか）えないで、我々一般人、弱者はサバイバルできません。

逆に、これに事（つか）えることで、李氏朝鮮王朝のような繁栄を築くことも可能なのです。

弱者の最強馬券術。

それが、オッズに基づく、馬券攻略法なのです。

最近、常々感じることは、競馬の予想家という職業の大変さです。

私は、何千万人の競馬ファンが練りに練って考えた拳句、馬券を購入することによって、形成されるオッズを馬券的中のためのツールとして用いて、的中馬券を手にはしていますが、競馬の予想家というのは、オッズも何もない状態で、予想をしなければなりません。

これってすごく大変なことなのではないでしょうか。

それで年間、3000レース以上も予想するのです。

ということを見ると、ある部分、手を抜かないとやってられないのだろうとも思います。

ですから、そのような予想は、的中する確率は低下し、年間回収率が100%を超える予想家は皆無という結果になるのでしょうか。

ただし、予想家に、自分の自信のあるレースだけ予想するだけでよいという命題を与えたら、どうなるのでしょうか。

結構、いい回収率を叩き出す人もいるのかも知れません。

「的中袋」の考え方は、レースの選別も含めて、何千万人の頭脳をアウトソーシングして、

その結果であるオッズを利用して、的中馬券に辿り着くと言う手法です。

これで、予想家より回収率が悪くなるわけありませんよね。

7. 馬券攻略法「的中袋」の概要

馬券攻略法「的中袋」は馬連（馬複）的中を目的としております。

馬単や三連複や三連単は難しく、私の手に負えません。

馬連のオッズをレース解析のツールとして使用致します。

また、新馬戦、障害レースは対象としません。新馬戦はオッズ自体が当てにならず、障害レースは落馬などアクシデントのリスクが大き過ぎるからです。

皆さんは、馬券を検討される際に、出走馬の実績、調子、血統、相手関係、枠順、レース展開、騎手との相性、厩舎作戦などの様々なファクターを考慮し、買い目を決定されていることと思います。

「的中袋」では、皆さんが取捨選択した情報に基づき、知恵を絞って馬券購入という行動に移した結果、形成された「オッズ」のみを用います。

自分以外の皆さんに目一杯考えてもらうということです。

正確に言うと、「クラス」「コース」の2つのファクターは用いますが、これ以外は、オッズだけ用いた方法です。

「的中袋」の大まかな流れは、以下の通りです。

1. レース種類の確定
2. 買い目の確定
3. 資金配分の確定

「レース種類の確定」とは、このレースはどのようなレースかを確定することです。

「買い目の確定」とは、確定した「レース種類」に適した買い方は、どのような買い方かを確定させることです。

「資金配分の確定」とは、買い目に対して、資金をどのように配分するのか確定すること

です。

レースタイプの確定とは、以下のステップ 1 からステップ 4 を経ることにより、当該レースが「どのようなレース」なのかを特定することです。

各ステップは以下のようなものです。

ステップ 1：パターンの決定

馬連上位人気の目の出方にに基づき、3 パターンに該当するレースを抽出します。レースのパターンを特定することで、1 人気馬が当てになりそうかが判ります。

ステップ 2：タイプの決定

馬連上位人気のオッズ分布状態に基づき、5 タイプに分類します。タイプを決定することで、どの馬がヒモになりそうかが判るようになります。

ステップ 3：集中係数の算定

上位人気馬の信頼度を示す尺度として、馬連の上位人気のオッズを指数化し、これを集中係数と称します。集中係数が小さいほど、そのレースは「荒れそう」なレースとなり、集中係数が大きいほど、そのレースは「堅そう」なレースになります。

ステップ 4：集中係数の補正→信頼係数の確定

ステップ 3 で算定された集中係数を変化させる 2 つの要素として、クラス（未勝利、500 万下、1000 万下、1600 万下、OP）、及び、コース（東京芝 1400、中山ダート 1800 など）に基づき、集中係数を補正します。補正後の集中係数を信頼係数と称します。

以上 4 ステップを踏んだ結果、レースタイプが

「パターン」＋「タイプ」＋「信頼係数」

という形で確定します。

レースタイプが確定すると、すなわち、そのレースが「どういうレース」かが解れば、それに合わせて、どの馬券を購入すればよいか自動的に決まるのです。

馬券攻略法「的中袋」は、レース類型に合わせて、馬券購入システムを、本命レース、中穴レース、大穴レースの3種類に大別しました。

本馬券攻略法は、レース類型に応じて、的中馬券の入った袋を用意するという意味で、「的中袋」と命名しました。ですから、本命レース用の的中袋と大穴レース用の的中袋の中身は全く異なります。

レース類型によっては、馬券の買い方が定まらない場合があります。その場合には、馬券を買わないことになります。

8. 馬券攻略法「的中袋」の運用実績

2005 年度中山、東京開催における、馬券攻略法「的中袋」運用実績を以下に述べます。

残念ながら、中山、東京開催のみの実績です。

正直に申し上げますが、この運用実績は、

2005 年 1 月 1 日以前に、馬券攻略法「的中袋」が完成を終え、

2005 年 1 月から 12 月までの間、実際に「的中袋」を運用した結果

を示すものではありません。

「的中袋」自体が、2005 年 1 年間運用し、その実績に基づいて、法則を作ったものです。

したがって、法則作成の対象とした期間、つまり、2005 年の運用実績には「後出しジャンケン」の要素が含まれています。

ですから、回収率が 100%を超えていても驚くことではありません。

そうなるように作成したというだけです。

ただし、「的中袋」の基本思想、「歴史は繰り返す」という大前提があります。

歴史が繰り返すのであれば、2005 年度と同じ程度の的中率、回収率は上げられるのではないかというのが、ポイントです。

さて、2005 年度は、中山、東京、各 5 開催ありました。

1 開催 8 日間、1 日 12 レースとすると、

$12 \text{ レース/日} \times 8 \text{ 日/開催} \times 5 \text{ 開催} \times 2 = 960 \text{ レース}$

です。

G1 開催日など、1 日のレース数が減ることもあることを考慮すると、年間約 950 レースが中山、東京コースで行われたこととなります。

まず、馬券購入の対象としない、新馬戦、障害戦を除きます。

次に、ステップ1からステップ4までを経て、レース類型が確定し、レース類型に適した馬券システムが見つかったレース数は、550レースでした。

その550レースの結果が以下の通りです。

本命システム	171レース	的中119レース	的中率70%	回収率123%
中穴システム	249レース	的中107レース	的中率43%	回収率120%
大穴システム	130レース	的中35レース	的中率27%	回収率137%
				(うち万馬券7レース)

合計	550レース	的中261レース	的中率47%	回収率125%
----	--------	----------	--------	---------

平均すると、1日12レースのうち、7レースに絞り込み、半分が的中ということです。

この数値の評価は皆さんにお任せします。

株式投資の考え方でポートフォリオというのがあります。

リスクとそれに見合うリターンをうまく組み合わせて、できるだけ、ローリスク・ハイリターンの組合せとすることです。

「的中袋」は大きく3つの攻略システムがあります。本命、中穴、大穴の各攻略システムです。

2005年度のそれぞれのシステムの的中率と回収率は以下の通りでした。

本命システム	171レース	的中119レース	的中率70%	回収率123%
中穴システム	249レース	的中107レース	的中率43%	回収率120%
大穴システム	130レース	的中35レース	的中率27%	回収率137%
合計	550レース	的中261レース	的中率47%	回収率125%

それぞれのシステムが、1つのレースでどれくらいのリターンを狙っているかは、回収率÷的中率で求めることができます。

本命システムは、177%

中穴システムは、279%

大穴システムは、509%

のリターンを狙っているということがいえます。

本命システムは、1つのレースのリターンが177%なので、2回に1回の割合では、長期的には回収率が100%以下になってしまいます。

大穴システムでは、1つのレースで509%のリターンを求めて投資するので、4回に1回くらい当たれば、回収率が120%を超えるのです。

本命システム、中穴システム、大穴システムを組み合わせると、「的中袋」のポートフォリオが構成されているといえます。

9. 最後に

「的中袋」は、

「敵を知り己を知れば百戦危うからず」

「歴史は繰り返す」

という2つの言葉を基本思想として作成されました。

「敵を知ること」とは、そのレースの個性をはっきりさせることです。これが、はっきりさせることができれば、その特定された個性のレースが過去どのような結果になったのかが、データとして集積されます。

集積されたデータから、何らかの法則が導かれれば、その、法則は繰り返されるということが言うことが可能です。

歴史は繰り返されます。繰り返されないとおかしいのです。

現実には、皆さんは1番人気の馬が強いということをご覧になっていますね。

また、万馬券も出ますね。

私が申し上げているのは、本命が決まるときには、本命が決まるようなレースの個性があり、万馬券になるとときには、万馬券になるようなレースの個性があるということです。

ですから、「敵を知る」ことが重要となるのです。

敵を知ってしまえば、後は、繰り返される歴史に乗っかるだけです。

レースによっては、個性がはっきり特定できない場合もあります。

そんなときは、手を出しません。歴史が繰り返されないからです。

ここまでお読みいただきありがとうございました。

馬券攻略法「的中袋」は、インチキ競馬必勝法とは、コンセプトが違います。

最大限、内容を開示して、皆様にご納得いただいた上で、ご購入いただけるように、最善を尽くしました。

まぐまぐでメルマガ公開予想もしています。

『厳選レース直前予想「的中袋」』(ID:0000191663)

以前、「的中袋」をご購入頂いた方々に、インフォレビューに投稿してもらえないか、御願ひしたことがあります。ある方からのご返事はこのようなものでした。

- ① レビューサイトは、基本的に「悪評」を書き込むもの
- ② したがって、良い意見は「販売元の回し者」と思われるのがオチ
- ③ だから、逆効果なのでやめたほうがよい
- ④ また、「的中袋」は「本物」過ぎるので、購入者は、皆、あまり広めたくないのではないか

馬券攻略法「的中袋」にご興味のある方は、こちらのサイトもご覧ください。

<http://tekichu.rakurakuhp.com/>

サニー耳順